

(別紙様式1)

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	瑞穂市立西小学校		
実 施 期 間	平成26年10月24日(金)		
実 施 概 要	この日を「公表会」とし、地域の方々、保護者、学校関係者に読む能力を身に付ける指導の在り方を国語科の授業を通して公開した。また、コミュニケーション能力を育む場として取り組んできた児童集会も公開した。		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	160	人
	地域関係者	30	人
	計	190	人
実 施 状 況	1 特徴的な内容 ・全保護者及び学校評議員、自治会長、民生児童委員等地域の役員の方々 に案内を配布した。 ・本校はこの2年間、国語科を研究の中心にすえ、コミュニケーション能力の育成を重点にしてきた。それにより、自信を持って話すことができるようになってきた。しかし、一方で話す内容を自分で考え、粘り強く自ら課題を解決しようとする意志に弱さがあることも明らかになった。そこで、本年度から「読む能力」に焦点を当て、課題に自ら取り組み、最後までやり切ることのできる児童を目指した。 2 公開授業の様子 ・読む能力を育むために、教材の単元構想図を作成し、単元の見通しをもって、指導に当たることができた。 ・児童一人一人の読みを深めるための指導援助の在り方が明らかになっており、個に応じた指導を充実することができた。 ・児童集会では、2年生が詩の群読、歌の発表を行った。大きな声ではっきりとリズムにのって、話したり歌ったりできた。また、その後の感想発表では、めざしている8割の児童の挙手も目標を達成できた。その内容も感想だけでなく、これからの自分たちの学習や生活に生かそうとするものに高まってきた。		
成 果 及 び 課 題	1 保護者や地域の方々の意見、感想 ○児童が落ち着いて、しかも意欲的に学習に取り組んでおり、その成果が挙手の多さや発言内容に現れていた。 ○子どもの「話し方」「聞き方」「書き方」に教師の指導が入っていることがわかった。 ▲学校の説明責任を果たすためにも、学校の教育公開を積極的に行っていくことが大切である。 2 学校の教育週間に関する趣旨やねらいに関わって ○本校の実践している「読む能力」を育む国語科教育について、保護者や地域から高い評価を得ることができた。 ▲保護者や地域の方々がより参加しやすくするために、教育公開時期やその内容を検討する。		